

2019年度事業報告書 特定非営利活動法人 京都子育てネットワーク

1. 事業の報告

理事会に全チームリーダーが加わり、合同会議に新しい顔ぶれで参加するチームが増え、スタッフの意識がチームを超えて組織全体を見る視点へと広がってきた。

理事会・合同会議共に、乳幼児(妊婦含む)の子育て家庭が孤立することなく、より豊かに暮らせるよう、循環型の子育て相互支援社会づくりをするために、どのような長期・中期・短期のビジョンをもつことができるのか、今自分が・自分たちがやれること・やるべき社会課題の解決とは何なのかを時間をかけて話し合った。結果的には今までやってきたことをさらに深めていくことが、ビジョンに向かって進んでいくことになる、という合意に至った。

収支の面では、赤字予算であったことから、2本の助成金(京都新聞社会福祉事業団:mamaGAKU、京都生活協同組合:ふかふか子育て)と、補助金事業(京都府つながり応援隊)の合計3本で経費を補い、充実した事業を展開することができた。

内閣府より「チャイルドサポート章」を受賞することとなった。選考委員より「子育てをする親の当事者としての悩みから育児サークルをつくり、そこから地域のネットワークを広げながら 22 年間という長期にわたっての実績は素晴らしいと思います。個人の問題としてだけではなく、社会の問題として発信を続けてきた活動は先駆的ともいえる」との受賞コメント。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利に係る事業

事業 枠	企画 番号	事業名	実施日時	実施場 所	事業内容(①②③成果・課題)	受益対 象者 (人)	受益対 象者	予算	事業収入 額	支出額
	1	つどいの広 場いっぽ	水・日・祝を のぞく毎週 5日	桂小学 校ふれ あいサロ ン3F	<p>①<成果> 手芸・音楽・運動と、ママ達の得意なこと、好きなことをそれぞれの交流の場で楽しみ、仲良くなれた。互いのお子の見守りや成長を喜び、日めくりカレンダーの作成グループにつながった。月一度のおしゃべりパーティーは、ママの発表の場、お誕生日祝いの場、新しい仲間作りの場として定着している。</p> <p><課題>ママ達のつながりはできているので、次のステップとして自主性がほしい。おしゃべりパーティーのテーマによっては申し込みが殺到。安心安全面の観点から35組までとしたが当日飛び入りの方もいて対応が難しい。</p> <p>②<成果> はぐくみ室、久世保育所との協働で1歳半健診にて困り感のある親子の支援、居場所作りとして毎月ほんわかクラブを開催。後期は月2回の開催をして、親子の成長を見守った。十人十色では、多胎児・アレルギー・ダウン症・口唇口蓋裂、四肢欠損の方の当事者の会をピアサポーター、行政を巻き込み開催し、交流を図った。利用者ママがピアサポーターを担い始めて、循環型の支援につながっている。</p> <p><課題> 当事者の会以外でも広場の利用をして欲しいがこちらからの呼びかけがないと、なかなか利用できない親子さんもいる。</p> <p>③<成果>4ヶ月健診の見守りを実施、広場や子育て施設の案内や、初めてのお出かけの不安感を小さくしている。出張広場はそれぞれの場でリピーターと共に新規の利用も多く、初めの一歩応援となっている。パパも一緒に利用することで子育ての理解、共感を深められるよう、パパに出てきてもらう企画を月1回実施。毎回の振り返りを生かし参加が増えた。平日やイベントではない通常のパパ利用も増えた。ママの育児、家事負担が軽減されていくような取り組みにつなげていきたい。</p> <p><課題> 月3回の4ヶ月健診のうち1回の見守りに留まり、支援にムラがある。回数を増やしてもらえたらと行政から期待されている。産前産後の企画について、ニーズを聞き取り、参加を増やしていきたい。</p>	7068 人	子育て 家庭	6,366,000	6,608,276	6,608,276

1 子育て広場運営	2	ま〜ぶりん まぐ	木・日・祝を のぞく毎週 5日 10時～16 時	京都市 西京区 大枝東 新林町 3-5 UR洛西 新林団 地中央 集会所	<p>①成果：サークル活動を通して、ママたちがやりたいことを協力し合って形にしていく姿が見られた。今年度は「食育」をテーマに掲げ、食物を育てるところから収穫まで丁寧に進めた。毎年恒例の「手作り市」は、新林児童館40周年のお祭りに絡めて新林小学校で開催。地域に向けてより広がりが生まれた。課題：育休期間中のみでの広場利用、保育所や幼稚園プレ利用の増加による、サークルメンバー集め、活動維持の難しさ。</p> <p>②成果：今年度は定期的に「発達遊び」を取り入れることで、利用者の不安や困りにより具体的にアプローチできるよう努めた。また、月に一回はぐくみ室の相談員(心理士)に入ってもらったり、療育など専門機関との連携を深めることで、情報共有がさらにスムーズになった。洛西地域の支援団体が一堂に会し協同することで「地域で見守る目」を増やしていけるよう働きかけ、具体的な取り組みを年々深めることができている。課題：行政の体制改変に伴い、今まで築いてきた連携が滞りがちになっている。</p> <p>③きのひろばでの取り組み、地域団体とのコラボ、行政・民生さんからの紹介などで新規利用者が増えた。プレママ教室や地域での乳幼児の集まりにはできるかぎり足を運び「広場の周知」に力を入れた。プールなどパパの協力が自然と必要になる取組みがきっかけで、土曜日などのパパ参加が増えた。チラシデザインの工夫、SNSや動画を駆使し、親しみやすさ、参加しやすさが伝わる広報ができるようにこころがけた。課題：孤立しがちな家庭、仕事を抱え地域コミュニティを築きにくい家庭へのアプローチをどうしていくか。</p>	3979人	子育て 家庭	4,916,000	5,043,306	5,043,306
	3	ふかふか子 育てコミュニ ティベース	毎週月・水 曜日10時 ～15時	ふかふ か家2階	<p>①成果：ママ達の得意分野を引き出し、利用者主体の手作りやおしゃべりの企画を多数実施することができた。以前の利用者によるハンドマッサージ企画では、先輩ママとの育児話も盛り上がり、参加者からも好評だった。日めくりカレンダー作成も、メンバーで自主的に進めることができていた。今年も地域の100円商店街ではママ達がハンドメイド作品にて出店。(プレママスタッフ21人)地域の方にも講座を依頼し、つながりを深めることができた。課題：イベントは、企画によって参加数が少ないものがあった。利用者の声を聞き、ニーズにあった企画、そして特色ある内容を実施していきたい。</p> <p>②成果：様々な環境の親子さん達が参加の中、おしゃべりやランチタイムなどを共にしながら互いに共感しあい、よい時間を過ごすことができた。多胎児の企画として10月にいっぽとの共同で外遊び企画(ふかふか初)を実施。ふかふかの地域からも2組参加され、その後のふかふか利用にもつながった。外遊びも計5回実施。公園で出会った親子が後日ふかふかに来所してくれたこともあった。課題：上記以外にも多胎児企画を定期的に5回実施するも、参加は計4組にとどまった。はぐくみ室や地域の広場などと連携を取り広報を広げるとともに、先輩ママに参加してもらうことでより充実した企画とすることで参加者数を増やしていきたい。</p> <p>③成果：6か月までの時間は月に1回、0歳児の時間は月に2回実施し、継続した企画として浸透している。(6か月までの親子初利用組21組)その他抱っこ講座、ベビーマッサージなど赤ちゃん向けの企画も実施し、利用に繋がった。課題：前年度と比べて初来所数が減少している。SNSでの発信を増やし、各イベントやランチ中の写真などを掲載してより分かりやすくひろばの様子を伝え、来所につなげていきたい。</p>	1241人	子育て 家庭	735,400	272,936	737,590

2 親の 社会参画 の コー ディ ネー ト	4	mamaGAKU	年間6回	グランス クエア・ 本立院・ オーブ	<p>①子育てスクールでできたサークルメンバーが自主的に手伝い力を発揮してくれ、他の母たちのロールモデルともなった。また、新規の参加者に団体を知ってもらうことができた。 課題:参加者に周知できるよう、他事業とも連携を取りながら進めていく。</p> <p>②講座の中で子育ての様子などを話し合い共感したり助け合う場面が見受けられた。また、異年齢や父親の参加もあり、多様な子育てを知ってもらうきっかけになった。 課題:多様な親子の対応などを学び合う機会を作っていく。</p> <p>③参加者から、子育てするうえで仲間や、周りとのつながりを持っていくことが必要と感じたとの声が聞かれた。また、講座の中で、生活に取り入れられる情報を手渡すことができた。 課題:当日キャンセルやコロナの影響による延期など、予約者と連絡を取り合う必要があったが、うまく連絡のやり取りができないことがあった。 情報チームと連携を取り、申し込みの方法・情報の発信の一本化・連絡先(電話番号含む)の管理を整えて、お母さんに情報が手わたるようにしたい。</p>	172 人	子育て 家庭	136,200	115,100	115,987
	7	やんちゃ フェスタ	44,151	みやこ めっせ	<p>協力的な姿があった。初めての講師も一人一人声掛けをしながら指標を意識し力を発揮できていた。 課題:チーフとなるママ講師の育成に努めていく。</p> <p>②障害を持ったお子さんとそのお母さんにもみんなと一緒に楽しんでもらえるようサポートした。 課題:多様な親子への声掛けなど学べるようFa研修受講を促していく。</p> <p>③ニーズに合った地域情報、京ネットの情報(LINE@、インスタなども)、ママ講師情報を声掛けしながら手渡した。 また、参画団体にカレンダーコンテストの情報を説明しながら配布した。 課題:ブース番号・タイムテーブルを書いたミニチラシのようなものを作成し配布できると集客につながる。京ネットのHPにつながる案内を片面に印刷したカードを用意しておく。各イベントごとに必要事項を記入し集客と共に団体周知につなげる。また、HPに飛んでもらった際に、一目で他事業のイベントや申し込みフォームがわかるように整備していく。</p>	200人	子育て 家庭	41,820	9,325	34,999
	8	みらいっこ まつり	12月13日、 14日	こどもみ らい館	<p>①新しいママ講師にも参画してもらい、ママ講師たちがほかの講師のサポートや連携が取れた。また、自身の活動だけではなく、団体の事業の案内など積極的に行ってくれた。 課題:チーフとなるママ講師の人材育成に努めていく。</p> <p>②初めて出会う親子同志が話す時間を設けたプログラム、またフリーの時間に近くの親子をつなげるなど意識的に動いてくれている講師の姿が見られた。 課題:工作の際、お母さんが一生懸命になり子どもが泣いているなどの場面があった。そのような場合の対応についても考える機会を持っていきたい。</p> <p>③子育てスクールの案内を各々講師が口頭説明を加えながら情報提供した。 課題:会場案内やタイムテーブルを書いたミニチラシのようなものを作成し配布できると集客につながる。京ネットのHPにつながる案内を片面に印刷したカードを用意しておく。各イベントごとに必要事項を記入し集客と共に団体周知につなげる。また、HPに飛んでもらった際に、一目で他事業のイベント案内、申し込みフォームがわかるように整備していく。</p>	講座 440人/ 情報 コー ナー 120人 (2日 間)	子育て 家庭	23,252	0	27,875

9	中高生と赤ちゃんふれあい授業	実施日 6/27 11/7 2/3 2/27	依頼校 洛東高 西乙訓 高北野 中	<p>①赤ちゃん授業の経験があるとボランティアとしての理解がとてもスムーズである。高校の子育て講演会も年度を重ねて同じスピーカーのお話を聴くことは、家庭科の担当教諭からも好評です。洛東 乙訓 西乙 子育て</p> <p>②子育ては十人十色。6月の妊婦さんとの交流後の授業となる3人の子育て体験を聴く2時間目と赤ちゃんふれあい授業の2時間続きのプログラム。妊娠出産子育てから地域でのつながり、お父さんの想いやお母さんの想い3人3様のお話を聴きながら、感想を生徒に書きとめていた。今年度も武田さんに講演していただけた。高校も中学も</p> <p>③高校生の子育て講演会と赤ちゃんふれあい授業は、これから産み育てる母や父として、自分たちなら一緒に子育てをするパートナーとどう築いていくのかを他人事ではなく、自分に置き換えて考えている生徒もいる気づきの時間となりました。</p>	4+親10 子10+3 +3+4 +生徒 385 大24子 10	生徒・教員	27,246	113,130	99,090
10	一時保育	0	京都市 各文化 会館ほ か京都 市全域	<p>①成果：イベント・会議・コワーキングなど様々な場面での保育に携わり、子育て中のお母さんをサポートし、社会参画に貢献できた。スタッフも、保育に携わることで自身の価値を高められ、喜びを感じることができた。幅広い年齢のお子さんを預かる場合は、年齢別に担当を分けるなどして対応。長時間の保育も、各スタッフが遊びを工夫してお子さんが楽しく過ごすことができていた。</p> <p>課題：今年度は保育に関わるスタッフが減少。（新規登録者1名）新規スタッフの加入につながるように、募集チラシの見直しやSNSなどを使った広報を考えたい。活動にあまり参加できなかったスタッフもいるため、今後スタッフが増えることで新規保育開拓にもつなげ、保育活動が広げられるようにしていきたい。</p> <p>②成果：英語圏のお子さんの保育を他団体スタッフと共に実施した。コミュニケーションを取ることが困難ではあったが、異文化を理解し子どもに寄り添いながら保育に努めた。</p> <p>課題：様々な保育依頼が入る中、その場の状況に合わせて対応できるように研修や情報共有を行うことで更なるスキルアップをはかることが必要</p> <p>③成果：新しい団体からの依頼も多数受け、それぞれの希望に沿った保育を行い、安心・安全に活動できた。</p>	239 人	子育て 家庭	525,000	914,191	733,489
11	親子の居場所づくり相談室	年間随時・ 電話相談： 月・水13～ 15時	派遣場 所	<p>①[成果]図書ボランティアなど、長年個々に頑張ってきた活動をつなげて持続可能なネットワークを作ることも意義があった。[課題]サークルやサロンからの問い合わせが減っている。意図的に派遣の案内をおくるなどの努力が必要。また、他機関との連携や次への広がりも意識をして地域に拡げていくようにする。</p> <p>②[成果]不登校の当事者グループなど親として経験したことを仲間とわかちあい、次世代と共有しながら困りごとを学校や社会に拡げていく活動をサポートできた。[課題]多様なグループの情報をしり、共有できるようにする。</p> <p>③[成果]日めくりカレンダープロジェクトへのファシリテーター派遣と連携することで、新たなグループが誕生した。[課題]仲間づくりチームと連携し、アドバイザー派遣をするスタッフの意識も共通して高めていくことをこころがける。</p>	356人	子育て グルー プ	788,000	968,000	626,340

3 子育てグループ コンサ ルテー ション	12	こどもつな がり応援隊 事業	年間	ふかふ か家ほ か	<p>①[成果] サークルの敷居をさらに低く、4人以上でチームを作って子育てあるある日めくりカレンダーを応募するという企画をすることで、児童館に通っていただけのママたち、同じ幼稚園に子どもを通わせているママたち、学生時代の仲間など、既存のサークルを超えたチームが結成され、新たな出会いとつながりが生まれた。16チーム参加。「子育ては大変だけと楽しいこともたくさんあると社会に広めたいと思った」とアンケートで60%が回答。子育て体験を社会に広めることに意義を感じている。[課題]児童館での成果が大きかったため、さらに積極的に児童館連盟を通して、また個別に声掛けをして周知を図り、エントリーのためのチームづくりを促していく。</p> <p>②[成果]カレンダー作りを通して「いろいろな人や子育てを知る機会になり、自分への励みになった」と80%の方がアンケートで回答。また、10代から80代までの男女700名がコンテスト審査に参加し「親子に温かいまなざしを向けたいと思った」98%、「子育ての楽しさや苦勞を共感できた」97%、と回答していた。社会に十人十色の子育ての共感が広がった。[課題]当事者グループにも声をかけて自分たちらしさを表現してもらう機会を作る。</p> <p>③[成果]京都信用金庫、京都マルイ、あやべ温泉、など今までつながりのなかった公共施設とつながりを持ち、来場者コンテストの協力をもらえ、多くの府民に子育てあるあるを読んでもらったことも大きな成果であった。社会全体が産前産後のはじめの一步にあたたかいまなざしを向け、支えあう風土を広げていききっかけづくりとなった。公式審査員に府の職員に入ってもらうことで市内での関心も高まった。[課題]今回の見本を使ってアピールしながら応募の心理的なハードルをさげる工夫をし、チームを作ってエントリーができる仲間づくりを進めていく。</p>	865人： カレン ダー作 成135 人・審 査700 人・表 彰式30 人	子育て グルー プ	786,000	1,015,000	1,016,260
	13	仲間作りの ためのFa研 修	年間2回	ふかふ か家	<p>①循環型の子育て相互支援・仲間作りの意義を学んでもらった。講師が講座の中でFaの働きを織り交ぜていくことで仲間作りができることに気づいてもらった 課題：より受講講師を増やしていくことが必要。日程を年間で決定しておくことで、2回目、3回目の受講者も増やしていく。</p> <p>②団体で行っている色々な当事者の集まり、情報発信について知ってもらった。 課題：多様な親の親とのかかわり方、事例などのプログラム内容も増やしていくことなど検討。</p> <p>③孤立予防のための情報発信・親子の居場所作り相談室の意義について知ってもらった。 課題：親のエンパワメントを図るための促進力を浸透させられていない。何回も受講してもらえるよう工夫していく。</p>	4人	内部メ ンバー	32,200	13,500	9,010
4 情報集 集・発 信	14	情報発信・ 管理	通年	適時	<p>①ボラフェスは行政都合にて縮小のため参画できず。他チームとの連携を図り、情報発信に努めた。</p> <p>②キッズステーションにてサークル紹介は、今年度にて一旦終了。「ママの声」のネット配信を次年度進めていく。</p> <p>③HPの更新、FB、インスタでの情報発信に努めた。イエローシート活動が注力不足。パンフレットは一部訂正にて対応済。マムブームのネット発信も完了済。</p>	人	子育て 家庭	64,698	0	10,458
	15	イエローレ シート	年間	イオン洛 南店	<p>①今年度は地域の子育てサークルさんの参加がなかったが、店頭活動により京ネットの活動を知ってもらうことができた。</p> <p>②店頭活動をすることで子育て世代への共感をえることができた。</p> <p>③店頭活動が産後のお母さんに京ネットの活動を知ってもらう機会となった。</p>		子育て 家庭	59,540	55,920	59,560

5 地域・行政・企業との連携 *委嘱・参画委員会など	京都府地域創生推進会議	8月8日1月27日	京都ルビノ	一人一人の夢や希望がすべての地域で実現できる京都府をめざすための「京都府地域創生戦略」についての計画策定。子育てに優しい風土づくりが基本目標の1に入っているため、どのような風土が必要なのかを発言してきた。				0	4,000	0
	京都府特定事業主行動計画評価委員会	10月31日3月6日	訪問	次世代育成支援を推進するために行動計画を作成。アンケート結果を共有し、特に男性の育児休暇取得向上を目指している。府庁一丸となって取り組みをすすめるよう制度と整えることを話し合った。				0	3,000	0
	京都市育み推進審議会	6月20日26日7月22日29日9月17日10月3日17日	平安会館・ガーデンパレスなど	京都市はぐくみプラン作成(京都市子ども・若者総合計画)①子どもと若者の未来を育む社会環境づくり部会②親子いきいき保健部会③子どもの健全推進部会 の部会に所属。京都はぐくみ働き方改革宣言の在り方や部会に分かれプランの細部を確認。子どもの最善の利益を守るための視点に焦点が合うように話の舵とりをすることができず残念であった。				0	14,000	0
	福祉ボランティアセンター運営委員会	3月9日	ひとまち交流館	ボランティア支援部推進計画、令和2年度事業計画、予算案、令和元年度事業活動の進捗など。ボランティアの人材育成や多様な機関・団体との連携、福祉教育の推進などの課題があがる。				0	1,000	0
	京都市交遊バリアフリー推進検討会議			会議は欠席。「心のバリアフリー」ハンドブック改訂版作成にあたり修正を4カ所を行い、すべて改定案に盛り込まれた。				0	0	0
	京都はぐくみネットワーク	6/17,8/5,12/16,2/7	明治安田生命ビル	31年度京都はぐくみ憲章の行動指針を決定。児童に関する事業の実績報告などを数子で確認し、現在の状況を把握した。交流会の中で、各幹事団体・実行委員会の様々な活動・取り組みを発表し、共有した。各地域での取り組みの成果を感じるとともに、各団体とのつながりも深めることができた。				0	4,000	0
	子どもを共に育む京都市民憲章推進協議会	8/5,12/16	京都市総合教育センター	京都はぐくみ憲章の緊急の方策に係る動向についての意見交換。虐待や薬物乱用についての更なる対策が必要との意見が多く出た。普及活動を確認するとともに、令和元年度「京都はぐくみ憲章」実践推進者表彰団体を決定した。				0	4,000	0
	西京区つどいの広場交流会	9/12	バンブーホーム	西京区つどいの広場、バンブーホーム・のこちゃん広場・まぶりんぐ・いっぽの4広場が集い、西京区子育てネットワーク支援連絡会の会議研修の報告を聞く。(輪番制。今年度はバンブーホーム。主に虐待状況などの報告)情報交換では地震、台風など災害時の各広場での対応などについて話し合った。				0	0	0
西京☆わくわくはぐくみパーク実行委員会	9/19・10/4・12/17	西京区役所保健福祉センター別館	西京区の桂・桂東・桂川・桂徳4学区の各児童館、保育園、民協と久世保育所、西京区社協、つどいの広場2カ所で構成。西京☆わくわくはぐくみアクションの一環としては初年度。3年連続企画だが担当学区は1年ずつの輪番となっている。バンブーホーム・いっぽ両広場は3年間参画する為、引き継ぎなどの役割も担う。10/30開催のウエスティでは子育て世帯への様々な情報提供の場となった。116組234名参加。				0	0	0	

桂学区子育て支援連絡会	4/22・7/8・11/5・2/26	西京児童館	基幹ステーションの西京児童館を中心に保育園・幼稚園・小規模保育園・桂小学校・桂中学校・放課後サービス・民生・社協・はぐくみ室など計18カ所の団体で形成。各機関の活動の現況報告・お知らせと交流。年4回。学区の課題など話し合い、地域ステーション事業の企画へとつなげた。桂学区の中の縦割りの支援の輪が広がっている。今年度は児童館館長が転任されたり幼稚園が小規模保育園を新設したりと学区内に動きがあった。が、今までのつながりにより機関同士が助け合い、ステーション事業を二回開催した。乳幼児から18歳まで切れ目のない支援を目指し、引越し等で支援の目をすり抜ける子どものいないよう多くの目で見守っている。				0	0	0
かつらぶフェスタ実行委員会	6/3・7/8・10/1・11/5	西京児童館	ステーション事業の一つ、「かつらぶフェスタ」は音楽を通じて老若男女問わず集えるフェスタとして、好評で今年度5回目。昨年度、実行委員会を立ち上げたが、一部団体の負担感は大かった。今年度はそれをふまえて各団体に仕事を割り振り、いっぽとしては負担も減り、スムーズにできた。				0	0	0
洛西ニュータウンアクションプログラム検討会(ワーキンググループ検討会)	6/22,10/29,1/25,2/10,	洛西支所	洛西ニュータウン活性化のため、行政(洛西支所)と地域・企業などが一堂に会し、各テーマに分かれて討議を重ね、必要なプランの実現に向けて動いている。ま〜ぶりんぐは主に子育て支援事業と公園事業に関わる。2018年度の成果としては、「らくさいきのひろば」が完成し、その場を利用した取り組みに参加協力。また点在する公園でプレイパークを定期的に開催することにより定着しつつある。今後、行政を離れ地域で定着していけるかが課題。				0	0	0
洛西支所幹事会	4/24,6/29,7/20,9/21,10/19,12/18,1/18,3/19,	洛西支所	はぐくみ室・民生・区社協・ま〜ぶりんぐ・久世保育所で構成。子育てに関する情報交換と課題を共有し、必要な会議の設定・議題検討・研修内容を組み立てている。年々、洛西の各学区ごとの状況に応じた対応がきめ細やかになってきた。行政の体制改変により今後の維持が課題となっている。				0	0	0
たけっこぐんぐんプロジェクト委員会	5/11,7/17,9/14,12/6,3/12	洛西支所	民生児童委員中心に構成。地域マップの作成やスタンプラリー、赤ちゃん訪問事業など、回を増すごとに意欲的に意識高く取り組んでいただいている。ま〜ぶりんぐは赤ちゃん訪問時のプレゼント作製ほか、様々な取り組みで共同している。				0	0	0
洛西基幹ステーション会議	5/15,9/26,2/25	洛西支所	洛西地域の基幹ステーションが年に3回程度集まり、情報交換と課題解決、共同事業に関して話し合う。				0	0	0
新林地域子育て支援ステーション事業「新林ネットワーク会	3/19,	新林児童館	新林児童館・新林保育所・木の実保育園(小規模)・新林小学校・新林自治連会長(保護司)・新林民生・新林社協・ま〜ぶりんぐ・はぐくみ室で構成。第1回目がようやく始動した。情報交換を通して、子育て家庭を時系列でみることで、より具体的な支援に繋がると期待する。				0	0	0
洛西地域子育て支援ステーション会議	9/21,3/4		共同事業「らくさいっこあつまれ〜」についての打ち合わせ会議と見返り会議				0	0	0
ふかくしゃべり場	4/10,5/8,6/12,7/10,9/11,10/9,11/13,12/11,1/15,2/12,3/12	ふかふか家	区社協、包括、商店街理事、高齢サポート、その他地域で活動する様々な団体が参画。活動の情報共有を中心に、各団体が連携してできることを模索しながら継続してきた。今後、地域のイベント参加や自主企画を実施してしゃべり場の認知を上げ、より幅広い関係者の参画、繋がりを広げる有意義な会議になることを目指している				0	0	0

6 （ 事務 局	事務局(会計 名簿管理・渉 外窓口・書類 作成など)	0	0	<p>[成果] 約3年前より、納税とそれに伴う様々な準備と手続き、法人の新しい決算方法に関して等、事務局一丸となり地道に進めてきました。昨年度からその成果が出始め、今年度はかなり完成した形となって決算まで終えることができました。</p> <p>また、慣れない作業でしたので、会員の皆さんには沢山のご協力を頂きました。そのおかげでここまでの形にできたのだと思います。ありがとうございました。</p> <p>[課題] 現在はこれといって大きな課題はありませんが、進めていく中で課題が見つかった場合は、今までのように事務局メンバーで協力し合い、それで解決できないことは理事会や専門の方に相談して解決していきます。</p>		1,125,600	0	975,600
	事務局経費 (通信費・送 料・保険など)	0	0	0		445,754	0	178,074
	会議費	0	0		<p>[成果] 会議日程は10頁「数字で見る活動状況」に記載している。それぞれ適時開催をし、議事録もあがるようになった。[課題] 会議を通してチーム内で意思疎通をはかり、さらにチームを超えて意思疎通を図れるようになること。</p>		341,800	0